

全國一般全國協

2013年1月7日 No.115

全國一般勞動組合全國協議會

編集発行人 渡辺啓二

東京都港区新橋 5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236 FAX 03-3433-0334

URL:<http://www.nugw.jp>

E-mail:nugw@nugw.jp

インフレ・増税政策による生活破壊に抗して、13春闘を闘い抜こう！

中央執行委員長 平賀雄次郎



2013年新年おめでとうございます。

昨年12月の総選挙は、私たち労働者に厳しい試練と困難の到来を予感させる結果となりました。投票率は戦後最低の59・32%、更にその内の自民党得票率は27・6%を数えるのみでありながら獲得議席数294占有率61・3%を占める結果は、小選挙区制の弊害と政治機能喪失をはっきりと示しています。しかし、私たちは自公与党圧倒的多数の下での政治経済の現実に立ち向かわなければなりません。

から獲得議席数295に占有率61・3%を占める結果は、小選挙区制の弊害と政治機能喪失をはつきりと示しています。しかし、私たちは自公与党圧倒的多数の下での政治経済の現実に立ち向かわなければなりません。

開始される13春闘は、私たち労働者にとって最初の試金石となります。安倍新政権は、財政と金融の両方で力ネをばら撒くインフレ政策アベノミクスを公言しています。4年前のリーマンショック=金融暴走破綻がもたらしたグローバル経済下の金融システムや雇用構造の問題点を反省しないバラマキ政策は、経済回復はおろか労働者の賃金が上がりないまま金利や物価だ

けが上昇する結果につながります。相変わらずのユーロ諸国の財政危機の進行、アメリカの「財政の崖」などは、問題解決の先送りが繰り返されているに過ぎない

いことを示しています。ばら撒き政策に触発された余剰資金は実体経済とかけ離れた投機資金として一時的な株価急伸や為替円安相場に流れています。かつ安倍政権「国土強靭化」200兆円という公共投資は、社会経済の根本的改革に逆行するものです。巨大な財政資金は、すでに老朽化しているインフラの維持更新に莫大な費用が求められる中で、今後40年間で3千万人の人口が減る状況では、後世の人々に借金の山になるだけです。そしてグローバル企業である大企業は、内部留保を拡大し低賃金労働力と市場を求めて海外への進出を続け貧困・格差の拡大には目を向けません。

金負担が増え私たち労働者の負担は急速に増していま
す。また12月の鉱工業生産指
数が前月比マイナス1・
7%と実体経済は後退して
おり、労働者の給与総額も
3ヶ月連続してマイナス、
長期的には1997年をピー
クに73ヶ月も賃金は下がり
続けています。経済が成長
しても賃金は下がり続けて
いるのです。雇用構造が劣
化して労働者の3割以上が
非正規不安定労働者である
現実を変ええない限り、労働
者生活全体の改善は望めず
格差拡大は防げません。こ
うした中で安倍政権が「2
%の物価目標でインフレ期
待を起こす」ことは、労働
者国民の社会生活の底が抜
けることを意味します。だ
からこそ、確実な賃上げ、
健康で安心な労働環境を闘

'13春闘スケジュール

- ◆1/18(金) 18:30~
全労協'13旗開き(新橋交通ビル)
 - ◆1/24(木) 18:30~
けんり春闘発足・学習会
(全水道会館)
 - ◆1/26(土)~27(日) 13:00~
全国協・業種別課題別全国交流会
 - ◆1/27(日) 13:00~
全国協・各県代表者会議
(浜松町プラザ神明)
 - ◆2/15(金) 18:30~
福島とつながる2・15労働者集会
脱原発をめざす労働者実行委
(一ツ橋・日本教育会館)
 - ◆2/23(土)~24(日)
三重・福島現地フィールドワーク

護憲勢力として断固たる闘いを!

全国労働組合連絡協議会

議長 金澤 壽



2013年の幕開けに、政権は崩壊しました。闘いの決意と新年のお慶びを申し上げます。

さて、政権交代から3年数ヶ月、先の衆院総選挙で民主党は壊滅的敗北を喫し

さで、政権行使を禁じる憲法解釈の見直しを強く打ち出すなど、原発推進に加え、自衛隊の国防軍化や集団的自衛権行使容認など憲法「改正」に積極的な姿勢をみせてています。

憲法「改正」を目指すことになるだろうと思われます。私たち労働者が、安心して働き生活できる社会実現のために、皆さんと共に全力で闘う決意です。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

区制のなせるワザです。憲法第9条改正に反対する人は7割近くいます。原発廃炉に賛成する人は7割以上います。

反戦平和・原発廃炉の共同行動を強化しよう!

全日本港湾労働組合

中央執行委員長 伊藤 彰信

ます。



昨年暮れの総選挙で、自民党が圧勝し、安倍自民党総裁を首班とする自公連立政権が成立しました。憲法を改悪し、国防軍を創設するといった安倍の登場です。原発も推進するでしょう。

新年明けましておめでとうございます。
全日本建設、全国一般全国協、全港湾の三単連は、沖縄平和行進、脱原発運動を共同してたたかい、目に見える運動をつくってきたと言え

危機は新たな労働運動創出のチャンス

全日本建設運輸連帯労組

中央執行委員長 長谷川 武久



新年あけましておめでとうございます。

昨年末の総選挙結果は、原発推進・憲法改悪を目指す安倍自民党圧勝の極めて厳しいものとなりました。

しかしこれは3年前の政権交代での民主党への大いなる期待が大きい失望へと変わり、裏切りと失望の反動が民主党の自滅となつて現れたのであり、自民党の

改憲や原発再稼働を許さない労組結集を

中小労組政策ネットワーク

共同代表 田宮 高紀

ます。憲法改悪や原発再稼働への動きに対する私たちの一層の力の結集が求められます。アベノミックスと言われる経済政策も、要は力を大量に発行して公共事業に注ぎ込みゼネコンや大企業の利潤をあげる以外に

心を呼び起こし、国民生活の困窮や貧困は資本との対立を激化させる等全国で闘いの渦が巻き起こります。この間3単連運動は、多くの労働者・労働組合に勇気と希望を与えてきました。危機が深刻化する時代、私達の果たす役割更に大きく重要になってきます。

危機の時代こそ新たな労働運動が生まれる大きなチャンスでもあります。新たな時代を自らの運動で切り開いていくために全力をあげて奮闘しましょう。今年の闘う決意を申し上げ、新年の挨拶とします。今年もよろしくお願いいたします。

つて経験してきたことの繰り返しもあり、リーマンショック以降に欧米で試みられ失敗が明らかになつている政策です。

ここで労働者が覚醒し決起する以外に活路はないのです。そのため、中小企業も、若者への世代交替とともに、皆様と共に頑張りま

す。すでに多くの方々が語ら

れており、安倍政権は、労働組合はもつと力をつけ、政治に影響を与える勢力として登場できるよう、さらに共同行動を強化しましょう。

**東京電力・ゼネコンは除染作業を食い物にするな！
除染危険手当を全額払え！ 放射線管理をキチンとやれ！**

12月21日、ふくしま連帯労組に加盟した除染作業を担つて、いる5名の組合員が、派遣会社・D警備（埼玉県鶴ヶ島市）に乗り込み、全体12名で団体交渉をおこなつた。

組合員が、「晩飯のおかずは、なすとビーマンを湯がいて、もやしが一掴み。ひどすぎる!」「これでどうやって力が出るんだ!」「食費と宿賃を最低賃金から引かれる契約で働いたつもりはない!」と会社を追及した。

会社側は、労基法15条違反を認め、食い抜きで一万二千円の契約を認め、後づけの誤魔化し回答を引っ込め、確認書を交わした。

会社側は残業代を検証し払う意向を表明した。ふくしま連帯労組は、この他にも二件の事案を抱え、いわき自由労組も新たに一件の分会結成で交渉中だ。



12・21 団体交渉

支部紹介 全芝浦屠場労働組合の闘い

東京南部

私達の全芝浦屠労働組合
の結成は1972年です。

宅手当の廃止と退職金の大
幅削減の提案が出されまし

東京都が内蔵業者に解体作業のタダ働きをさせてきた
という差別行政を糾して、
80年食肉事業公社を設立し、

た。ストライキ闘争体制を組み、東京都と団体交渉を行いましたが、私達の提案撤回要求は受け入れられず、

85年これを東京都の直當とさせました。そのため組合は、内臓分会、臓器分会、東京都職員分会の三分会が結集して活動を行つています。

交渉は決裂しました。 続く団交課題である特殊勤務手当の増額要求は、相次いだ層別差別の解消するために、われわれの職場をキチンと同和対策として位

その都職員に対し、2
〇一〇年秋、35歳以上の住

置づけて、手当を十倍にせよという怒りの要求です。

卷之三

会」の実
きる大
討

「脱原発社」
明るく生活で
春闘

なが
社会をめざす

勝利しよう
を許す

（副委員長・萩原祐二）
ていきます。



11・14 都庁前ビルまき



(1) 11月20日結成された「脱原発社会をめざす労働者実行委員会」により、12月14日福島とつながる映画上映会「原発の町を追われて」（堀切さとみ制作）が田町交通ビルで開催された。

(2) 今後、さよなら原発一千万アクションとして、①2月15日「脱原発をめざす労働者集会」、②3月9～11日全国一斉行動、が予定されている。

(3) 全労協13春闘討論集会（新橋交通ビル）12月15日 講師：熊沢誠さん「貧困格差社会における労働組合の役割」
12月6日JAH控訴審 勝利をつかむ大集会（池袋みらい座）700名参加

オスプレイはじめ米軍再編強まるなか、2012岩国行動に全国から労働組合が結集

11月23日、第6回目の労働者反戦交流集会は、「なぜ労働組合は反戦を闘うのか」を中心に開催されました。集会では、郵政の仲間の「平和的生存権の獲得と労働者」の発言をかわきりに次々にこの間の脱原発、オスプレイ岩国－沖縄配備反対の取り組みが報告されました。

門司地区労の仲間からは、関門港の両岸でのオスプレイ搬入阻止闘争の取り組み。東京、北九州からは教育労働者が発言。全国協からは

さらに、7月現地岩国オスプレイ搬入阻止闘争特別報告、韓国・済州島カンジョンで

（連帯労組・やまぐち）

私が今回驚いたことは、岩国基地の強化は、住民を騙して押し進められてきた

ものだったことです。その

地元住民の方々が「振り払つても、振り払つても火の粉が襲いかかってくる」と訴えるように、日米政府の岩国基地大強化の攻撃は強まるばかりです。愛宕山地区住民、岩国市民の闘いに継続した連帯とともに

れられた場所である。

私が今回の驚いたことは、岩国基地の強化は、住民を騙して押し進められてきた愛宕山を、岩国市民は基地強化と米軍住宅建設の反対の意思を住民投票で示し

たにも関わらず、岩国市と山口県が赤字補填という理由で国に売却し、国はそこに米軍住宅の建設をすると

岩国行動に参加して

全国一般神奈川・生活クラブ生協支部
佐々木 允



(左)桂、(中)佐々木、(右)矢部

「オスプレイ反対の集会に参加する」その程度の考

えで参加した僕ですが、二日間の日程を終え考える事は大分変わったかと思います。

初日の「岩国住民との交流会」「労働者反戦交流集会」一日目の「岩国基地ファイ

「オスプレイ反対の集会強化反対の国際集会」「岩国基地に向けたデモ行進」

の日程で行動しました。

当初住民の居住地区として強引に進めた愛宕山開発事業が米軍居住地に変わってしまう不条理さにそんな

事があるんだ！と考えさせ

るも凄い元気！凄いパワー！現地住民の方、組合の方を

見ても真実を知るために勉強や行動し努力している。強い力に対抗する小さな力

見事にぶち壊されるプロセスをいやがうえにも味わいました。

私の脳髄の中でこの構図が見事にぶち壊されるプロセスをいやがうえにも味わいました。

米軍基地を抱える（抱えさせられている）自治体住民が、「戦争に巻き込まれる」との危機感に日夜おびゆくヒントがあると感じさせながら、毎日をやり過ご

住民を騙しての米軍基地強化に驚き

全国一般東京南部 桂 利之

今回、初めて岩国行動に参加させて頂きました。

岩国基地と言えば、少し

ない思いでした。地元住民のための開発予定地であつた愛宕山を、岩国市民は基

地強化と米軍住宅建設の反対の意思を住民投票で示し

たにも関わらず、岩国市と山口県が赤字補填という理

由で国に売却し、国はそこに米軍住宅の建設をすると

運動を広げ連帯し、少しでも前進することが大切である

いう事実。これは決して岩国市だけの問題ではありません。基地を押し付けてるのは国であり、私たちひとり一人の問題だと思う。

日本国民が結束して米国に強く主張すれば、米国レイ搬入のニュースで取り上げられ、全国的に名の知られた場所である。

日米安保が創出する理不尽の塊：

東京東部労組書記長 矢部 明浩

11月23・24日、二日間にわたり岩国（山口県）入り

しました。米軍基地に侵食されている、本州での日米安保矛盾の象徴的存在であるとともに、ご存知「空飛ぶ棺」軍用輸送機オスプレイ12機が日本に初上陸した

地でもあります。名所旧跡「錦帯橋」を擁する牧歌的な側面のみをイメージとして抱きながら、のうのうと駅のホームに降り立ちましたが、二日間の住民・労働者交流集会、フィールドワークの基地見学などを通じて、私の脳髄の中でこの構図が見事にぶち壊されるプロセスをいやがうえにも味わいました。

でも各地の仲間が助け合うことで大きな力を生み出して

いると感じました。行かなれば感じる事ができない

